

| 科目名    | 年度   | レポート番号 | クラス | 学籍番号     | 名前   |
|--------|------|--------|-----|----------|------|
| API 実習 | 2023 | 5      | A   | 20122058 | 南波光希 |

ページ数や文字数よりも、読んでわかりやすく書けているかどうか、点数アップの分かれ目です。

API を使ったアプリやゲームが作ったけど「動きませんでした、完成しませんでした」は評価に値しません。単位取得は、きちんと動くものが評価対象です。API を使うこと、そしてプログラミングは 1 年生からの講義で学ぶことをすべて活用すれば実現できるはずです。

## 設問(1)

この科目で学んだ内容を第 3 者(他学部の学生や親など)にわかるように説明せよ。

『API について』

- API(Application Programming Interface)とは、異なるソフトウェアとソフトウェアを繋ぐインターフェース
- API、外部のアプリの機能やサービスを利用できる。データ連携を行う上で必要なもの
- API 連携とは、API を利用して、アプリケーションの機能とデータを第三者のアプリケーションに連携する
- API がなかった頃は、外部連携をするために一つ一つコードを書かなければいけなかった
- 

## 設問(2)

レポート(4)をもとに、API 連携作成または API を用いたサービス開発結果を書いてください。何かしら動くものが出来ている前提です。

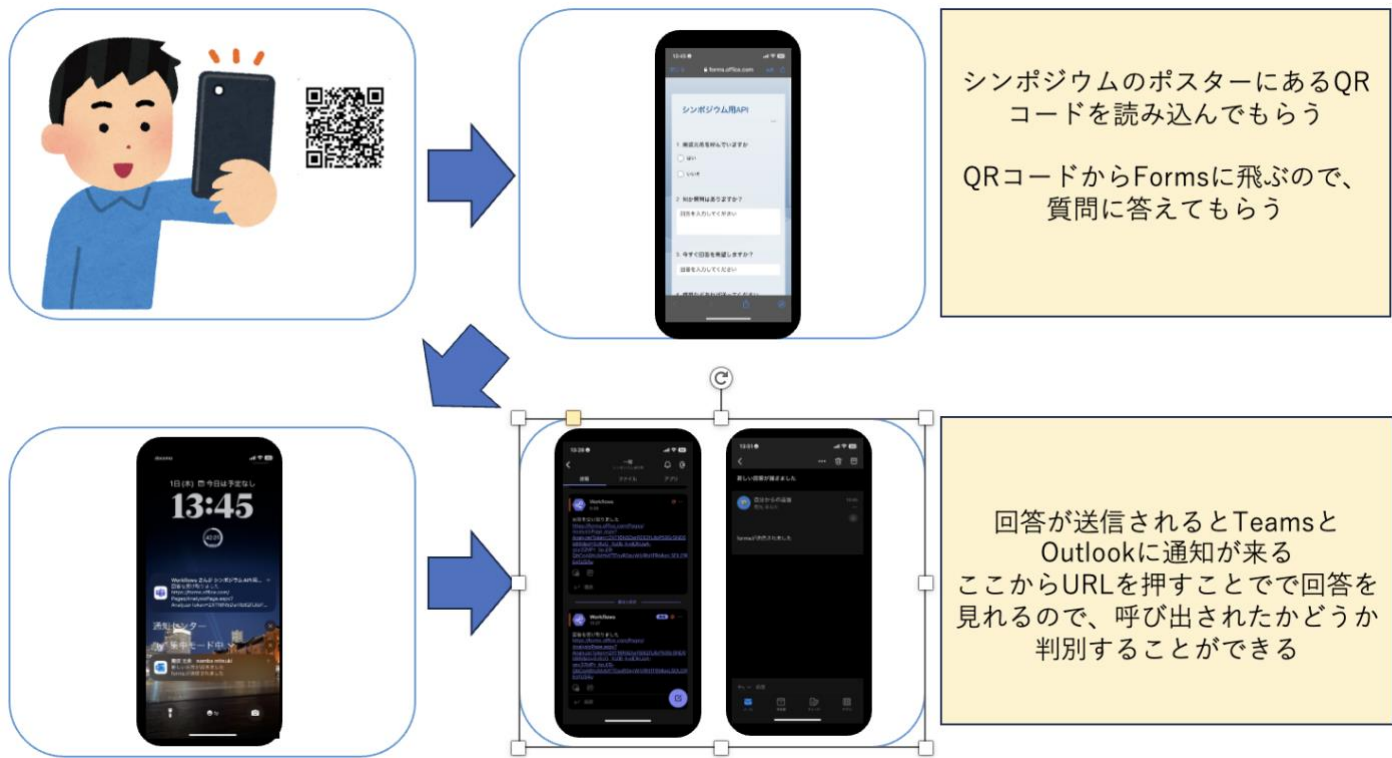
名称

QuerySpark (クエリスパーク)

概要(作ったものの説明)

- ① Forms に回答を送信する
- ② teams に回答が来た旨と内容が送られる ②excel に回答が記録される
- ③ outlook でお知らせが来る

サービス説明(動作がわかるように画面を交えて説明すること)



レポート(4)の記載内容の実現状況（原則 100%となること）

すべて実装済みであり、動作確認済みである